

**Citation:** May K, Bryant A, Dickinson HO, Kehoe S, Morrison J. Lymphadenectomy for the management of endometrial cancer. *Cochrane Database of Systematic Reviews* 2010, Issue 1. Art. No.: CD007585. DOI: 10.1002/14651858.CD007585.pub2.

**CRG名:** Gynaecological

## [最新版\(英語版\)はこちら](#)

**英語版最終改訂年月:** 20 June 2009

**Clib issue No.;** N/U: 2010 issue 1, New

**背景:** 子宮内膜癌は、西ヨーロッパおよび北米で最も一般的にみられる婦人科癌である。臨床的には子宮に限局した癌であるとされた女性の約10%で、術前にリンパ節転移が見つかることがある。このためすべての骨盤リンパ節および傍大動脈リンパ節の切除(リンパ節郭清)が広く推奨されている。骨盤および傍大動脈のリンパ節郭清は、子宮内膜癌のFIGO進行期分類システムに必要な不可欠なものである。この推奨は、骨盤および傍大動脈のリンパ節郭清後の生存率の改善を示唆した非ランダム化比較試験(RCT)のデータに基づくものである。しかし、骨盤リンパ節の治療は、女性を予後不良群に割付ける以外に、治療上の直接的利益をもたらさない可能性がある。さらに早期子宮内膜癌女性の場合、潜在的なリンパ節転移を治療するためのルーチンのアジュバント放射線治療に関して、複数のRCTを統合した1件のシステマティック・レビューおよびメタアナリシスから、生命予後の改善は認められなかった。骨盤リンパ節および傍大動脈リンパ節の外科的切除は、短期的および長期的に重篤な続発症を引き起こしかねず、また大半の女性ではリンパ節転移はまったく起こらないであろう。従って、知り得た合併症発生率を用いて治療の臨床的有用性を立証することが重要である。

**目的:** 子宮内膜癌管理のためのリンパ節郭清の有効性と安全性を評価する。

**検索戦略:** Cochrane Central Register of Controlled Trials(CENTRAL)2009年第2号、Cochrane Gynaecological Cancer Review Group Trials Register、MEDLINE(1966年~2009年6月)、Embase(1966年~2009年6月)を検索した。臨床試験の登録、学会の抄録、選択した研究の参考文献リストも検索し、当該分野の専門家にも問い合わせた。

**選択基準:** 子宮内膜癌と診断された成人女性を対象に、リンパ節郭清の有無で比較したRCTおよび準RCT。

**データ収集と分析:** 2名のレビューアが独自にデータを抽出し、バイアス・リスクを評価した。リンパ節郭清を受けた女性および受けなかった女性を対象に、全生存期間および無増悪生存期間のハザード比(HR)ならびに有害事象を比較したリスク比(RR)を、ランダム効果メタアナリシスに統合した。

**主な結果:** 2件のRCTが選択基準に適合した。両試験は1,945例の女性をランダム化しており、1,851例の女性に基づいて、生存期間における、予後因子調整後、HRを報告していた。

メタアナリシスにより、リンパ節郭清を受けた女性と受けなかった女性との間で、全生存期間および無再発生存期間に有意差はないことが示された(全生存期間および無再発生存期間についてそれぞれ統合HR=1.07、95%CI 0.81~1.43、およびHR=1.23、95%CI 0.96~1.58)。

リンパ節郭清を受けた女性と受けなかった女性との間で手術自体の合併症発生率のリスクに統計学的有意差を認めなかった。しかし、リンパ節郭清を受けた女性は受けなかった女性に比較して、手術関連の全身的合併症発生率およびリンパ浮腫/リンパ嚢胞形成のリスクが有意に高かった(手術関連の全身的合併症発生率およびリンパ浮腫/リンパ嚢胞形成のリスクについてそれぞれRR=3.72、95%CI 1.04~13.27、およびRR=8.39、95%CI 4.06~17.33)。

**レビューアの結論:** 推定I期の女性に対するリンパ節郭清は、リンパ節郭清しない場合と比較して、死亡率や再発リスクを低下させるというエビデンスは認められなかった。重篤な有害事象に関するエビデンスによれば、リン

Copyright (c) All rights reserved by Minds, Japan Council for Quality Health Care  
パ節郭清を受ける女性は受けなかった女性より手術関連の全身的合併症発生率またはリンパ浮腫、心臓 Care  
嚢胞形成が高い傾向が示唆される。

(監訳 大神英一)

翻訳公開日: 10年6月25日

ご注意: この日本語訳は、臨床医、疫学研究者などによる翻訳のチェックを受けて公開していますが、訳語の間違いなどお気づきの点がございましたら、Minds事務局までご連絡ください。なお、コクラン・ライブラリは年4回改定版が発行されます。Mindsでは最新版の日本語訳を掲載するよう努めておりますが、編集作業に伴うタイム・ラグが生じている場合もあります。ご利用に際しては、最新版(英語版)の内容をご確認ください。